

第3461回例会 (令和7年6月11日・水)

今週のプログラム

6月11日(水) ゲストスピーチ

「箏の調べで感じる雨の季節」

筑紫会 箏曲科大師範 ちわたかえ
三絃科師範 千綿歌恵氏

次週のプログラム

6月18日(水) 会員スピーチ

「最終夜間例会」

理事・役員・委員長 活動報告
例会：18時30分～19時(予定)
懇親会：例会終了後～20時30分(予定)

・・・結婚月・・・

田窪 文博会員 1日 杉原 有会員 5日
津久井 宏会員 11日

●例会変更のお知らせ

月 日	クラブ名	受付場所
6月17日(火)	松江しんじ湖	ホテル一畑
6月19日(木)	松江東	ホテル一畑
6月23日(月)	松江南	松江エクセルホテル東急
6月24日(火)	松江しんじ湖	ホテル一畑
6月26日(木)	松江東	ホテル一畑
6月30日(月)	松江南	松江エクセルホテル東急

2025年6月～7月の予定

6月18日(水) 最終夜間例会
会場：ホテル一畑 平安の間
例会：18時30分～19時(予定)
懇親会：例会終了後～20時30分(予定)
※昼の例会なし

- ※ 6月25日(水) 休会
- 7月2日(水) 新年度初例会
会長、副会長、幹事、各理事・役員、
委員長就任挨拶
小林祥泰ガバナー補佐クラブ協議会
13時40分～15時 ラマージュ
- 7月9日(水) 歴代会長会
12時30分～15時 ラマージュ
- 7月16日(水) 坂口元昭ガバナー公式訪問例会 松
会長幹事懇談会
11時～12時 2階 楓

第3460回例会記録

令和7年6月4日(水・晴れ)

	会員数(人)	出席者数(人)	欠席者数(人)	出席率(%) (出席免除会員含む)	前々回補正(%) (出席免除会員含む)
松江クラブ	60	47 (リアル44 オンライン3)	13	83.93	87.50

メーカー：今井(松江東)、角戸、河原、原田(新旧クラブ協議会)

会務報告

堀江会長

- ゲストスピーカー紹介
山本幡男を顕彰する会 会長 岡田昌平様 おかだまさひら
- 衛星クラブから 4名出席
- 新会員の紹介
お名前：川村英司様 かわむらひでし
事業所：日本生命保険(相) 松江支社長
職業分類：生命保険
推薦者：堀江貴会員、目次真司会員
所属委員会：親睦・出席委員会
堀江 貴会長より紹介
川村英司様ご挨拶 バッジと名札 お渡し



目次真司幹事

- 先週、ミャンマー地震救済金をお願いをしたところ、34,000円集まり、5月29日にガバナー事務所へ送金しましたので、ご報告致します。
ご協力、ありがとうございました。
- 次回例会場は2階平安に変更です。
- 本日、例会終了後、定例理事会を開催致しますので、理事の皆様はお残りください。

委員会報告

- 親睦・出席委員会 伊藤宏樹会員
出席報告

プログラム

「映画『ラーゲリより愛をこめて』の山本幡男に学ぶこと」

山本幡男を顕彰する会 会長 おかだ まさひろ 岡田昌平氏



二二三三箱

33,000 円

岡田（志として）

川村（本日入会します。よろしく申し上げます。）

堀江（①ゲストスピーカー岡田昌平様をお迎えして。我が家も満州からシベリア抑留を経験しました。②川村さんをお迎えして。）

錦織（中央大学の先輩の岡田さんの卓話を楽しみにしておりましたが、残念ながら仕事の関係で本日は博多におります。戦後80年の今年は、お亡くなりになった方々への感謝を込めて様々に活動するつもりです。今後とも、より一層のご指導をお願いいたします。）

目次（①岡田昌平様のスピーチ楽しみにしています。②川村さんをお迎えして。）

小林（岡田さんのスピーチに。）

信太（岡田さんのスピーチに期待して。山本顕一君は松高同級生です。）

中村（岡田さんお久しぶりです。スピーチ楽しみにしています。）

西村（昨年、隠岐西ノ島別府の「ふるさと館」を訪ね、山本幡男（はたお）さんの遺品を見てきました。30年ほど前、辺見じゅんさんの書かれた「収容所（ラーゲリ）からの遺書」を読んで感動した友人たちと、辺見さんを松江に招いて講演会を開催し、聴衆の皆さんと共に涙しました。またラーゲリに抑留されておられた亡き金津敬（けい）さん（カナツ技建工業元社長、当クラブ46代会長）から当クラブメンバーに話を聞かせていただき、当時のつらく悲しい思い出を絞り出すかのように語られた金津さんを思い出します。私の姉は、山本幡男（はたお）さんの遺児（息子さん）と松江高校で同じクラスだったそうです。戦後80年、消え去ろうとしている当時の貴重な話を後世に伝える努力を続けておられる本日の講師・岡田様に心より敬意を表します。）

茨木（岡田様のスピーチに。「ラーゲリより愛をこめて」を観た時は涙が止まりませんでした。）

木村（川村様のご入会ありがとうございます。）

原田（本日早退させていただきます。）

杉本、佐藤尚、森岡、友塚、今井（誕生月）

ベストメッセージ賞：該当なし

司会 茨木直人会場監督

【6月理事会報告】

- ・水郷祭湖上花火大会企業協賛金についての件
例年通り承認
- ・7月以降の新会員入会についての件

ひとこと
随想
ピアノと私

今月のテーマは音楽です



おお きた けい じ
大 関 雄 資

プロフィール上の趣味は「読書と鉄道」だが、実は一番入れ込んでいるのはピアノだ。下手に書くと何かの折に弾かされるリスクがあるほか、とても人前で披露できるレベルでもないの、なるべく言わないようにしている。

ピアノを習っていたのは3歳から12歳まで。自分では全く記憶にないが、母曰く、私がやりたいとねだったらしい。ピアノの基礎練習は退屈極まりなく、苦行としか言いようがない。癩癩持ちだった私は、うまく弾けないと楽譜を引き裂いたり床にたたきつけたりしていた。途中で何度もやめたいと訴えたが、私が言い出したのだからと、小学校いっぱいはやめさせてもらえなかった。

はじめはヤマハの音楽教室で、小学校に上がったからは個人の先生に教わった。周りは音高や音大を目指すような生徒さんばかりで、親御さんもお子さんのレッスンに帯同し先生の指導を真剣に聞き入っていた。

そうした雰囲気の中、私は全くやる気のない「不良生徒」だった。先生に指使いなどを直されるとむくれて、意地になって我流で弾くような子供だったが、なぜか先生は私をかわいがってくれた。正統な教則本は遅々として進まなかったが、代わりに名曲をやさしく編曲した楽譜を使い、私がせめてクラシック音楽に興味を持てるように指導して下さった。

私が小学校へ通ったのは昭和50年代の半ば。その頃の男の子の遊びといえばもっぱら公園での

野球で、友人の誘いを「今日はピアノのレッスンがあるから」と断るのが何とも気恥ずかしかった。中学で野球部に入ったのを機に、ピアノはやめた。毎日ピアノの練習をせずに済むことの解放感は格別だった。

そのままピアノとは縁遠い生活をしていたが、18歳の頃から急にクラシック音楽を聴きだすようになった。進んだ高校が肌に合わず、悶々と帰宅部生活をしていた私にとって、時の試練に耐えて現代に残る曲をじっくりと聴くのは、最高の癒しだった。

こうなると再びピアノに向き合うのは時間の問題だった。特にレッスンを受けたりはしないが、子供の頃の基礎があるので独学で十分に弾ける。今年で社会人生活も30年となるが、この間の宮仕えで期せずして忍耐力が異様に高まっているので、子供の頃は我慢できなかった基礎練習も全く苦にならない。結果、昔は到底弾けなかったパッセージが、日に日に弾けるようになってくる。それが楽しい。

芸事のパフォーマンスが才能と努力の掛け算だとすると、ピアノも才能がゼロでない限り、練習をコツコツ続ければいつかは弾けるようになる。少なくとも趣味で楽しむレベルなら十分だ。人生100年時代、今年53歳の私は、ようやく半分を少し過ぎたところ。これから死ぬまでピアノを続けたら、どこまで弾けるようになるかと、日々妄想をたくましくしている。 (中央銀行)

新 入 会 員 紹 介



氏 名 川村英司
入 会 日 2025年 6 月 4 日
推 薦 者 堀江 貴会員・目次真司会員
在籍していたロータリークラブ 枚方ロータリークラブ